

メルロ＝ポンティ サークル ニュース

メルロ＝ポンティ・サークル事務局 〒651-2103 神戸市西
区学園西町 3-4 神戸市看護大学 松葉研究室内 郵便振
替 01080-7-80675 メルロ・ポンティ・サークル <http://www.merleau.jp>

■ 第13回大会開催

来る2006年9月18日（月），学習院大学において，第13回大会を開催いたします。別紙プログラムと地図をご覧ください。今回は，ベルクソン研究会と共催で「ベルクソンとメルロ＝ポンティ」と題するシンポジウムを行います。シンポジウムのレジュメを同封いたしますのでご覧ください（当初、筑波大学での開催を予定しておりましたが、ベルクソン研究会との共催となったため、場所やプログラムを変更しましたことをご許してください）。数多くの方々のご参加をお願いいたします。会員以外の方の参加も自由です（非会員の方には資料代とし¥1,000をお願いいたします）。

出欠葉書は8月31日までにご返送ください。なお，出欠葉書に，第14回大会で取り上げるべきテーマについてアンケート欄を作りました。ご協力くださいますようお願いいたします。

■ 機関誌第10号の発行

機関誌『メルロ＝ポンティ研究』第10号の発行が遅れ、たいへんご迷惑をおかけしました。ようやくお手元にお届けできることになりました。執筆者をはじめとする関係者の皆さんにたいへんご迷惑をおかけしたことを心よりお詫びいたします。

引き続き第11号の編集作業に入っております。ただ印刷方法の変更によって編集方法を根本的に変更する必要があります。第13回の大会には間に合わないかも知れませんが、なんとか年内の発行を目指しております。ご了承くださいますようお願いいたします。

■ 会費納入のお願い。

同封の用紙で，2007年度会費（2006年度会計は8月31日までです）をご納入下さい。お送りした宛名ラベルの下に，2006年度以前の未納分が記入されております。あわせてご納入ください。会費は，常勤の方は年3,000円，非常勤・学生の方は年2,000円です。なお，98年度のみ紀要補助費（1,000円）をお願いしております。

■ ニュース・レターの電子メールによる配信について

郵送料削減を目指し，「メルロ＝ポンティ・サークル・ニュース」の電子メールでの配信を検討しています。先日のアンケート葉書でご了承くださいました方には，次号から電子メールで配信させていただきます。

■ 国際大会の開催

事務局では、数年内に国際大会の開催を検討しております。前回もお伺いいたしましたが、招聘したい研究者に関して、出欠葉書でお知らせ下さい。

■ 事務局住所の変更

2004年10月から事務局住所が変更になっております。お手数をおかけしますが、よろしくお願ひします。

■ メルロ＝ポンティ・サークル第31回大会

メルロ＝ポンティ・サークル（合州国）の第31回大会が、10月26-28日に George Mason University (Arlington, Virginia Campus, ワシントンDCから地下鉄で5分) で開かれます。ディレクターは、Wayne J. Froman 氏。Mauro Carbone 氏の基調講演と Jacques Taminiaux 氏の講演が予定されています。テーマは "Body and Institution" です。発表論文の締切は6月15日。連絡先は以下の通りです。Wayne Froman, Merleau-Ponty Circle Conference Director, Department of Philosophy, George Mason University, Fairfax, VA 22030 U.S.A. wfroman@gmu.edu, <http://m-pc.binghamton.edu>

■ 新刊書

Patrice LETOURNEAU, *Le Phénomène de l'expression artistique*, Nota Bene, 2006.

Taylor CARMAN & Mark B. N. HANSEN (eds.), *The Cambridge Companion to Merleau-Ponty (Adobe eBook Reader)*, Cambridge Univ. Press, 2006

Jack REYNOLDS, *Merleau-Ponty and Derrida. Intertwining Embodiment and Alterity*, Ohio Univ. Press, 2006.